



主要な審査項目	審査状況	審査会合実績回数※1	審査会合至近実績	準備状況(%)※2	今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有																								備考	
					10月					11月				12月				1月				2月				3月				
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12		19
SA	・原子炉格納容器限界温度・限界圧力	1回	H27.3.3	100																										格納容器破損防止と併せて説明
	・炉心損傷防止	6回	H28.9.15	100																										事象発生から24時間交流電源に期待しない可搬型設備を用いた新たな有効性評価のため
	論点 全交流動力電源喪失時に遠がし安全弁閉固着が重畳する事故(TBP)時の対策について	0回	—	100																										
	論点 中小破断LOCA時の破断面積について	0回	—	100																										
	・格納容器破損防止	4回	H28.9.15	90																										代替循環冷却系のSA化に伴う新規評価のため
	論点 格納容器下部への初期水張り水位の適切性について	0回	—	90																										
	論点 シェルアタックを除外する理由について	0回	—	90																										
	論点 コリウムシールドの設置について	0回	—	90																										
	・使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料貯蔵槽内の燃料損傷防止対策）	1回	H27.3.17	95																										新SsによるSFPスロッシングの溢水量再評価のため
	・停止時（運転停止中原子炉における燃料損傷防止対策）	1回	H27.3.17	100																										炉心損傷防止の説明後に実施
・シーケンス選定(PRA)	7回	H28.7.12	100																										Ssハザード評価と併せて説明	
論点 津波レベル1PRAより抽出したシーケンスグループ	0回	—	100																											
・解析コード	(BWR電力会社でご説明済)	4回	H27.10.15																											
プラント	・SA共通																													
	重大事故等対処設備他(43条他)	0回	—	100																										有効性評価の説明後に実施
	保管アクセス(43条他)	1回	H26.11.18	90																										新たに設定したSsに対する評価反映のため
	論点 周辺斜面の安定解析について	0回	—	90																										
	共通事項(1.0)	0回	—	95																										先行プラント審査による評価を反映のため
	・SA設備逐条(44条～59条)	8回	H27.8.4	90																										柏崎刈羽6・7号炉の技術的知見等反映のため
	・SA設備逐条(60条～62条)	3回	H27.4.2	70																										敷地造成に伴いMP1基を移設予定であり、移設先での評価反映のため
	・技術的能力(1.1～1.19)	0回	—	95																										先行プラント審査による評価を反映のため
	・技術的能力(2.1)	0回	—	80																										先行プラント審査による評価を反映のため
	新たな規制項目への対応	有毒ガス防護に係る対応	0回	—	—																									
火山影響等発生時の体制整備に係る措置		0回	—	—																										
地震時の燃料被覆管閉じ込め機能		0回	—	—																										
格納容器の過圧破損を防止するための格納容器代替循環冷却系		0回	—	—																										
使用済み燃料貯蔵槽から発生する水蒸気による悪影響を防止するための対策		0回	—	—																										
原子炉制御室の居住性を確保するためのブローアウトパネルの閉止機能		0回	—	—																										
全交流動力電源喪失を想定した事故シーケンスの分割	0回	—	—																											

※1 平成26年1月から平成29年8月までの実績  
 ※2 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定

準備状況 (%)※1	平成29年												平成30年												備考			
	10月				11月				12月				1月				2月				3月							
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12		19	26	
耐震設計方針(第4, 39条)																												
① 基準適合(共通)																												
1	第4条:地震による損傷の防止																											
1	本文	90%																									★	各論点,各条文に係る審査の反映
2	設計用地震力	100%																									★	各論点,各条文に係る審査の反映
3	動的機能維持の評価	85%																									★	動的機能保持に係る技術基準解釈等の改訂の反映
4	弾性設計用地震動Sd・静的地震力による評価	100%																									★	各論点,各条文に係る審査の反映
5	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討	90%																									★	各条文に係る審査の反映 SA設備審査の反映
6	水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針	85%																									★	先行プラントの審査状況を踏まえ網羅的な整理
7	屋外重要土木構造物の耐震評価における断面選定の考え方	80%																									★	先行プラントの審査状況を踏まえ再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	第39条:地震による損傷の防止																											
1	本文	90%																									★	SA設備審査の反映
2	重大事故等対処設備の設備分類	85%																									★	SA設備審査の反映
3	設計用地震力	90%																									★	SA設備審査の反映
4	重大事故等対処設備の基本構造等に基づく既往の耐震評価手法の適用性と評価方針	85%																									★	SA設備審査の反映
5	重大事故等対処設備の耐震設計における重大事故と地震の組合せ	95%																									★	有効性評価審査の反映
② 論点「既工認との差異(建物・構築物)」																												
1	建屋の地震応答解析モデル(東北地方太平洋沖地震による建屋の応答状態等の反映)																											
1	地震後健全性	90%																									★	建屋の初期剛性低下の要因分析等取り纏め
2	初期剛性低下	90%																									★	建屋の初期剛性低下の要因分析等取り纏め
3	耐震補強	90%																									★	ヒアリングを踏まえて修正
4	設備への影響	80%																									★	初期剛性低下の要因確定後,設計体系に取込み
5	設計体系	80%																									★	初期剛性低下の要因確定後,設計体系に取込み
2	建屋地震応答解析における入力地震動の算定	90%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	弾塑性解析の適用																											
1	応力解析モデル(建物・構築物)への弾塑性解析の適用	80%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	原子炉建屋屋根トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用	80%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
③ 論点「既工認との差異(屋外重要土木構築物)」																												
1	解析手法の精緻化																											
1	時刻歴応答解析	90%																									★	ヒアリングを踏まえて論点再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	減衰定数の変更	90%																									★	ヒアリングを踏まえて論点再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	解析モデルの精緻化																											
1	構造解析における三次元モデルの適用	90%																									★	ヒアリングを踏まえて論点再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	隣接構築物のモデル化	90%																									★	ヒアリングを踏まえて論点再整理 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	後施工せん断補強筋による耐震補強	90%																									★	先行プラント審査による評価等を反映 新たに設定した基準地震動に対する評価反映
④ 論点「既工認との差異(機器・配管)」																												
1	原子炉本体基礎の復元力特性	75%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映 建屋との連成解析結果の反映
2	使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数の変更	95%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	機器・配管系設備に関するその他手法の相違点																											
1	サブプレッションチェンバ内部水質量の考え方変更	95%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
2	原子炉建屋クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	85%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
3	海水ポンプ室門型クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	70%																									★	改造工事の最新状況反映
4	燃料交換機への非線形時刻歴応答解析の適用	80%																									★	改造工事の最新状況反映
5	海水ポンプ補機エリア 竜巻防護ネットのゴム支保採用	75%																									★	新たに設定した基準地震動に対する評価反映
6	立形ポンプの解析モデルの精緻化	95%																									★	重要案件を優先
7	最新知見として得られた減衰定数の採用	90%																									★	重要案件を優先
8	水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根(SRSS)法による組合せ	90%																									★	重要案件を優先
9	鉛直方向応答解析モデルの追加	90%																									★	重要案件を優先
4	機器・配管系設備の既工認からの構造変更	80%																									★	改造工事の最新状況反映
⑤ 地盤の液状化																												
1	地盤の液状化																											
1	液状化評価の基本方針	90%																									★	先行プラント審査による評価等を反映
2	液状化強度試験とその代表性評価	90%																									★	先行プラント審査による評価等を反映
3	液状化強度特性の設定とその保守性評価	90%																									★	先行プラント審査による評価等を反映
4	構築物評価	75%																									★	先行プラント審査による評価等を反映 新たに設定した基準地震動に対する評価反映

【凡例】  
 : 審査会を実施中の項目  
 : これまで審査会を実施していない項目  
★ : 審査会希望時期  
▼ : 追資料提出時期

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール案(耐津波関係)

別紙2

平成29年11月14日  
東北電力株式会社

準備状況 (%)※1	平成29年												平成30年												備考		
	10月				11月				12月				1月				2月				3月						
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12		19	26
耐津波設計方針(第5, 40条)																											
① 基準適合(共通)																											
I. はじめに																											
II. 耐津波設計方針について																											
1 基本事項																											
1 津波防護対象の選定																											
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設の配置等																											
3 基準津波による敷地周辺の遡上・浸水域																											
4 入力津波の設定																											
5 水位変動・地殻変動の評価																											
6 設計または評価に用いる入力津波																											
2 設計基準対象施設の津波防護方針																											
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針																											
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)																											
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)																											
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)																											
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止																											
6 津波監視																											
7 津波影響軽減施設																											
3 重大事故等対処施設の津波防護方針																											
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針																											
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)																											
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)																											
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)																											
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止																											
6 津波監視																											
4 施設・設備の設計・評価の方針及び条件																											
1 津波防護施設の設計																											
2 浸水防止設備の設計																											
3 津波監視設備の設計																											
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項																											
② 論点「防潮堤の構造成立性」																											
1 防潮堤の構造成立性																											
1 設計方針																											
2 構造成立性																											
③ 論点「取放水路からの流入防止」																											
1 取放水路からの流入防止																											
1 設計方針																											
2 構造成立性																											

【凡例】

- : 審査会合を実施中の項目
- : これまで審査会合を実施していない項目
- ☆ : 審査会合希望時期
- ▼ : 追而資料提出時期

※1 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定